










第5回 大麻地区地域座談会報告

日 時	平成 29 年 10 月 14 日（土） 14：00 ～ 15：50		
テーマ	地域コミュニティづくり ～高齢者や障がいのある方とのつながりを深めるために～ 生活上の困りごと ～一人ひとりの困りごとをみんなで解決できるためのネットワークを作ろう～		
会 場	堀江公民館	参加者数	31 名
<p>1・2班は「一人ひとりの困りごとをみんなで解決できるネットワークを作ろう」について話し合いました。開始期には「家族やご近所から繋がりを見直す」「意見や助けを求められる投書箱の設置」等を、中間期には「みんなが集える居場所作り」「サロンやイベントへの参加の仕方について分かりやすく周知する」「会の後にお茶会（簡単な座談会）を盛り込む」「情報交換」等を行い、終了期には「歩いて通えるサロン（集いの場）作り」「移動式困りごと相談室の設置」等が出来るように活動を広げて行くという活動目標を発表して頂きました。</p> <p>また、3・4・5班は「高齢者や障がいのある方とのつながりを深めるために」をテーマとして意見交換をして頂きました。こちらのグループからは、開始期には「イベントや学校行事を通して世代を問わず交流を持つ」「認知症サポート養成講座に参加する」等まずは顔見知りになる事を足掛かりとして、中間期には「高齢者や障がい者についての勉強会」「ヘルプカード（私がお手伝い出来る事を表示）の使用」等、相手に対しての理解と共に生きる意識作りを行い、そして終了期には「誰もが通えるサロン作り」や「アンケート（どれだけ理解や周知が進んだか）」を進めていくといった目標を考えて頂きました。</p> <p>中には、障がいのある方も地域に参加しやすいよう、地域住民に簡単な手話を学んでほしいとの要望もだされ、まず自分が出来る事から少しずつ始めていく大切さを共有できた時間となりました。</p>			
			
			




第4回 大麻地区地域座談会報告

日時	平成29年9月14日(木) 18:00 ~ 20:00		
テーマ	大麻地区の地域コミュニティづくり ~若い世代の地域への参加~		
会場	堀江公民館	参加者数	37名
<p>第4回大麻地区座談会は、「若い世代の地域への参加」をサブテーマに意見交換会を行いました。幅広い年齢層の方々に多数ご参加頂きました。意見交換会では「今ある行事やイベント（お接待、シングルベルマラソン、花植え等）にさらに工夫を重ね、子供達が参加しやすいものを考えてみてはどうか？との意見が多数出てきました。他にも「子供達や若い人の意見を直に聞くことも大切なのは？」、「若い人向けの座談会を開催してもいいのでは？」と実際に何を求められているのかを知ることが「若い世代」へ引き継いでいく一番の近道になるとの意見があがり、こうした活動を地域で始める事も重要だと共有できました。</p> <p>また、この地域では学校行事の一環としてお接待などが行われており、小学校との連携・協力も地域コミュニティの育成に必要であるという事も確認しました。</p> <p>さらに広報活動として、全世代に地域への関心・興味を持ってもらう為にSNS等を用いる事も有効ではないかとの意見もあがってきました。</p> <p>地域で協力し合える為に、自分ができる事を考え、実践することが問題解決につながり、また住民同士の絆を深めることになると実感した座談会でした。</p>			
  			

第3回 大麻地区地域座談会報告

日時	平成 29 年 6 月 3 日（土） 14：00 ～ 16：00		
テーマ	大麻地区の課題抽出 ～困りごとから解決への役割を考えよう～		
会場	堀江公民館	参加者数	20 名
<p>今回、地域の課題と解決役割について5班に分かれて話し合いました。独居暮らしや認知症、移動手段、猪（猿）の被害など色々な問題が次々と提起され、パトロール隊が頻繁に見回りをしていっこうに減らない山中への不法投棄やゴミ問題、家族や近所付き合いの変化による空き家（土地）問題など次々と意見が上がる中、街灯や段差など高齢者に困難だと思われていた事が子供達にとっても不便だと感じている事が分かり、みんなが住みよくする為に「どこが」「誰が」頑張ればいいのか、地域一体となってやっていくにはどんな仕組みが必要なのかを考える機会となりました。</p> <p>「経験者の意見が聞けてとても勉強になった」と発表された班もあり、世代を越えての集まり（話し合い）が大切だと感じられました。</p> <p>中学生から「いつ事故や病気で障がい者になるか分からない。いつかは自分も高齢者になるのだから、みんなが住みやすい街づくりが出来るよう、これからも学んでいきたい」との感想もあり、会場の参加者皆さんが心を一にした時間になったように思います。</p>			
  			

第2回 大麻地区地域座談会報告

日時	平成29年4月22日(土) 14:00 ~ 15:30		
テーマ	福祉資源マップづくり ~大麻地区の福祉資源を掘り起こす!~		
会場	堀江公民館	参加者数	24名
<p>大麻地区は「板東」4班と「堀江」2班に分かれての計6班での資源マップ作りとなりました。</p> <p>マップ作りを通して、この地区は観光資源や伝統資源に恵まれており、また自治振興会や老人会、子供会などの活動も活発であることや「福祉の町」としての役割がしっかり果たされている事などの意見が出ました。</p> <p>一方で、障がい者施設や介護施設に多くの方が関わっているのに商業施設が少ないという意見やバス路線問題を提起される班もあり、第3回に向けての課題も浮き彫りとなってきました。</p> <p>中学生の班からは「学校行事を通して地域の皆さんに見守られてきたので、これからは私達がお役に立てるような大人になっていきます。」との感想も聞かれ、この地区の福祉意識が次世代にも引き継がれているように感じました。</p> <p>次回は6月3日(土) 14:00~堀江公民館で開催致します。多くの方のご意見を頂けますようにご参加をお待ちしております。</p>			
  			

第 1 回 大麻地区地域座談会報告

日 時	平成 29 年 3 月 19 日（日） 14：00 ～ 16：00		
テーマ	大麻地区らしさってなんだろう（大麻地区の魅力発見）		
会 場	堀江公民館	参加者数	37 名
<p>第 1 回座談会では中学生から高齢者まで幅広い世代の方々にお集まり頂き、総勢 37 名での開催となりました。魅力発見ではグループごとに特色が出ており、大麻町出身の著名人を 10 人近く挙げる班もあれば、地域に根差した教育により「おもてなしの心」が培われているという班もありました。（板東小学校卒業生は全員ドイツ語で第九が歌え、留学生をお迎えしている。お接待を経験し人との繋がりを大切にしている等）</p> <p>また、福祉の町としても多くの障がい者施設があり、地域の方たちと交流がさかんであるとの意見もありました。霊山寺や大麻比古神社、ドイツ館、大谷焼などの観光名所にも恵まれていると改めて魅力の詰まった町である事が再認識され、発表の途中でも感心したり共感した時には自然と拍手が沸き起こり、有意義な時間を共有する事が出来ました。</p> <p>第 2 回座談会は 4 月 22 日（土）14：00～堀江公民館で開催されます。</p>			
